

# 第 16 期 報 告 書

2024年4月 1日から  
2025年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

## 2024年度事業報告書

当会が一般財団法人として発足し16年が経過した。

国内においては、4つの主催全国大会の内、夏の水戸は台風、また全日本総合選手権は石川県での震災復興が影響した。特に全日本総合選手権は、当初の規模と日程は計画どおりに開催できたものの、変更後の会場予約から運営に至るまで、開催地となった栃木県協会の支援による要素が非常に大きく、想定外の事象に対するリスク管理については今後の課題となった。

なお、中学生競技者は、当年度においても増加が続いたことから、政府が進める学校部活動改革への対応は、より重要となった。

海外においては、久々にシングルボール種目の国際大会となった第5回アジアカップへ選手団を派遣した。また、マルチボール種目においても、マレーシアで開かれた東アジア選手権へ選手団を派遣した。

いずれも好成績を収めたものの、国際団体の動向はさらに不透明感が増加したことから、2025年度以降の構想に関しては見直しを予定している。


財政面では、各種資格取得者の順調な増加に伴う登録料に加え、新たな大会スポンサー企業の契約、助成金の活用分野の拡大等、収入源の多様化が進み、安定性が高まった。インフレの影響は続いているが、宿泊費や車利用の燃料費の取り扱いに関して、実態に合わせた規程見直しを図るなど対応も進めた。

## 1. 全国競技会

4つの全国大会の内、震災の影響のため、石川県での開催を計画していた本大会は栃木県に変更した。

### ①小学生：全国小学生ドッジボール選手権（夏・春）

夏は水戸市での5回連続開催(2020年はコロナ禍により中止)、春は前年度に続き福岡市にて開催した。  
8月の夏大会は台風の影響から一部配送の混乱が生じたものの、当日までには対応を完了した。

概要		
	第33回夏の全国小学生ドッジボール選手権	第34回春の全国小学生ドッジボール選手権
日 時	2024年8月18日(日)	2025年3月30日(日)
会 場	アダストリアみとアリーナ 〒310-0034 茨城県水戸市緑町2丁目3-10	福岡市総合体育館 〒813-0017 福岡市東区香椎照葉六丁目1番1号
助成団体	水戸市	 <b>スポーツ振興基金助成事業</b> <small>独立行政法人日本スポーツ振興センター</small>
協 賛	(公社) 糖業協会	
特別協力	ミズノ(株)	
協 力	(株)ミカサ、(株)モルテン、 (株)共同写真企画、(株)プロフォートサニー、 (株)フィス、(株)ヨコブリシ、 近畿日本ツーリスト(株)、 (株)アンフィニプロジェクト、 ヤマダイ(株)、JA水戸、(株)東横イン、 (株)桃の館、(株)正栄デリシィ、 (株)煎餅屋仙七	(株)ミカサ、(株)モルテン、 (株)共同写真企画、(株)プロフォートサニー、 近畿日本ツーリスト(株)、 (株)フィス、(株)ヨコブリシ、 (株)アンフィニプロジェクト、(株)東横イン、 (株)プレナス、(株)愛しとと、 (株)オーシャンプロテック、(株)ふくれん、 (有)クサカベロジテック、博多雅味 勝美家、 (株)花水セラミックデンタル、 (株)エムズサイエンス、(株)桃の館
参加 チーム ・ 人数	青森県を除く46都道府県予選代表小学生男女48 チーム(D-1) 選手 小学3～6年生男女 884名 指導者 132名 審判員／スタッフ 200名	青森・秋田・山形の各県を除く44都道府県代表小 学生男女48チーム(D-1) 選手 小学生3～6年生男女 897名 指導者 137名 審判／スタッフ 200名
成績	優 勝 DOKKY'S (静岡県) 準優勝 土竜島 (神奈川県) 第三位 イコール関沢 (埼玉県) ベストトゥエルブ (兵庫県)	優 勝 土竜島 (神奈川県) 準優勝 IKARUGAオールウィン(奈良県) 第三位 岩槻ジェニシス (埼玉県) 長久手ALL BLACKS (愛知県)




## ②中学生～社会人：J. D. B. A. 全日本総合選手権

全ての全国大会を含めて、初の栃木県での全国大会開催となった。

8月に入ってから会場変更、また、関東ブロックスタッフは連続での全国大会運営という異例の状況となったが、短い準備期間の中、地元栃木県協会の柔軟な対応により、無事開催に至った。地元の伝統工芸による表彰品製作など、新たな繋がりを得た大会となった。

中学生競技者の登録は明らかに増加しており、中期的には枠数の増加や単独の全国大会等の選択肢も検討することとした。

概要		
	2024J. D. B. A. 全日本総合選手権  <b>スポーツ振興基金助成事業</b> <small>独立行政法人日本スポーツ振興センター</small>	
日 時	2024年10月6日(日) 9:00～17:00 (5日は設営・審判員クリニック)	
会 場	日環アリーナ栃木 〒321-0152 栃木県宇都宮市西川田4-1-1 (県警機動センター跡地)	
協 力	ミズノ株式会社、株式会社ミカサ、株式会社モルテン、株式会社共同写真企画、 株式会社プロフォートサニー、株式会社フィス、株式会社ヨコブリシ、 株式会社アンフィニプロジェクト、株式会社東横イン、株式会社桃の館	
参加 チーム 人数	ファイターの部 北海道から九州までの9ブロック代表32チーム (中学生～社会人男女) U15の部 東北から九州までの8ブロック代表 20チーム (中学生男女のみ) 選手 (中学生～社会人男子・女子) 676名 / 指導者 130名 / 審判員・スタッフ 110名	
成 績	ファイターの部 (S-1) 優 勝 Vegaes0 <sup>3</sup> (関東ブロック/東京都) 準優勝 瀬尾クラブ (関東ブロック/東京都) 第三位 RESPECT (関東ブロック/茨城県) United (関東ブロック/茨城県)	U15の部 (S-1) 優 勝 Feujon Jr. (東海ブロック/岐阜県) 準優勝 のとつと (東北ブロック/福島県) 第三位 BigBlue (北信越ブロック/新潟県) M!Ryan (東海ブロック/愛知県)





## ③小学生～社会人女子：女子総合ドッジボール選手権

10月の栃木県に続き、初の滋賀県での開催となった。地元滋賀県を始め関西ブロックのスタッフの他、隣接する大学からも撮影スタッフ協力を得て、同大会としては過去最大チーム数での開催となった。

2025年度も同じ会場での開催を予定していることから、会場との打ち合わせ不足改善など、全国各地からの集まりやすさ等の利点をより生かす運営方法を検討することとした。

概要	
	第11回全日本女子総合ドッジボール選手権
日 時	2024年12月1日(日)
会 場	滋賀ダイハツアリーナ 〒520-2164滋賀県大津市上田上中野町779番地 TEL 077-545-0108
助成団体	(公財) スポーツ安全協会
協 力	ミズノ(株)、(株)ミカサ、(株)モルテン、(株)共同写真企画、 (株)プロフォートサニー、(株)フィス、(株)ヨコプリシ、(株)アンフィニプロジェクト、 (株)東横イン、滋賀ダイハツ販売(株)、(株)南洋軒、東近江ロータリークラブ、 (株)Re・Shine、(有)つるや、近畿日本ツーリスト(株)
参加 チーム 人数	D-1G(女子小学生)の部 36チーム / S-1G(中学生～社会人女子)の部 20チーム 選手 805名 (D-1G_576名、S-1G_229名) 指導者 176名 審判員・スタッフ等 180名
成 績	<div> <b>シニア女子の部(S-1G)</b>            優 勝 のーてんき                      (東海ブロック/愛知県)            準優勝 おんてんばぁる。                      (東海ブロック/愛知県)            第三位 DaMonde                      (東海ブロック/愛知県)                      くノ一                      (九州ブロック/福岡県)         </div> <div> <b>D-1Gの部</b>            優 勝 Fillies (静岡県)            準優勝 トキめきマイガール (新潟県)            第三位 横須賀飛球倶楽部姫 (愛知県)                      西京ガールズ (山口県)         </div>



## 2. 競技委員会

主催大会では競技運営を円滑に行うと共に、ルールの徹底、審判員の資質向上のため諸施策を実行した。全国大会時には審判員クリニックを実施し、各地域から派遣された審判員を通じ全国への周知を図った他、各ブロックへの検定員、研修会講師の派遣により水準向上を図った。また、2025-2026年度のルールブック改訂に向け、編集会議を行った。

A級～C級までを含めた全国の審判員資格取得者数は順調に増加し、4750名まで達している。

- A級公認審判員認定講習会

年間を通じて実施（レポート・実技）	受験者 6名	合格者 5名
-------------------	--------	--------

- B級公認審判員認定講習会（検定員派遣）

開催ブロック	開催日	開催場所	受験者	合格者
北海道	9/28(土)	北海道立 野幌運動公園体育館	1	0
東北	11/17(日)	富久山総合学習センター別館（福島県）	7	0
関東	12/15(日)	都賀コミュニティセンター（千葉県）	14	0
北信越	10/20(日)	上田市丸子総合体育館（長野県）	6	0
東海	10/15(日)	弥富市立 日の出小学校（愛知県）	8	3
関西	12/8(日)	丹波篠山市立西紀体育館（兵庫県）	14	1
中国	9/8(日)	廿日市市立 平良小学校（広島県）	8	0
四国	12/22(日)	高知市立 横浜小学校（高知県）	13	3
九州	11/3(日)	久留米市東部地区体育館（福岡県）	9	1
計			80名	8名

2023年度はブロック間の合格率の差があまりに大きかったことから、2024年度は競技委員長／副委員長を派遣し、改めて合否水準の再確認と統一を図った。合格者0名のブロックが過半数、全体の合格率10%という状況はかなり深刻であり、指導者を含めた資質向上等の取り組みが必要となった。

- 審判員中央研修会（スポーツ振興くじ助成事業）

本事業も、長く各ブロックの主催により開催していたが、B級審判員認定会と同様に、競技委員長／副委員長の中から講師を直接派遣し、より実践的な観点からの、全国大会レベルの講義・実技による研修指導を行った。

特に全国競技会での審判員の配置や動きを実際に示し、より精度の高いジャッジとゲームコントロールの伝達に取り組んだ。また、新規助成金事業とすることにより、審判員の交流が減少しがちな沖縄県でも開催し、全国的な水準向上を図った。

ただし、B級認定会の結果からは、カリキュラムの見直しも必要と考えられるため、研修内容に変化を加えつつ、2025年度も継続することとした。

日程	2024年9月～2025年1月
開催県	北海道、福島県、茨城県、長野県、愛知県、京都府、広島県、高知県、熊本県、沖縄県
受講者数	受講者 229名(男性140名、女性89名)



### 3. 普及委員会

各地域ごとの環境に合わせた、導入部の事業例に関する情報交換を重ねつつ、次世代の育成を視野に入れ、普及意欲の高い人物を、DA（ドッジアドバイザー）として認定している。

#### ● DA認定事業／研修会／活用事業

賞品協賛：ヤマダイ株式会社			
日程	会場	開催主体・事業名	参加者数
6/8	岐阜メモリアルセンターふれ愛ドーム	岐阜県協会	70名
	DA認定事業(4名認定) DAレベルアップ研修会(6名受講)を並行して実施		
3/22	豊泉家千里体育館	コナミスポーツドッジボール教室 ／コナミスポーツ	150名
	DA活用事業_関西ブロック：マルチボール教室。募集数を大幅に超える応募があったため、追加講師分の補助。		

2024年度の認定は中日本のみとなったが、合わせて、これまでの認定者に対するレベルアップ研修会も実施した。研修後、DA側からの提案として「審判員のケガ防止」に関する資料も作成され、地元で活用されるなど、新たな視点での試行錯誤も行われている。

#### ● 外部問い合わせからの発展（教室・取材等）

主な内容（抜粋）

日程	会場	依頼団体・事業名	特徴
5/5	エスプラットフジスパーク	キッズクロススポーツ	2023年度から継続。施設所有団体からの派遣依頼を受けて実施。
9/28	奈良県大宮小学校	DocomoCS関西	専門家から学ぶ「投げ方教室」の実施。
10/2	-	朝日小学生新聞	はじめてのしんぶん
10/21	（日環アリーナ栃木）	東京新聞	「スポーツ探偵」欄にて、大会の様子と共に情報掲載
11/17 3/2	大分県立総合体育館	コナミスポーツ ドッジボール教室	コロナ前から継続実施。2022年度からは年2回開催。2024年からは全国展開。

上記をはじめ、普及に関する外部団体からの依頼に対しても、DAを中心に積極的な対応に務めた。





#### 4. 指導委員会

J S P Oとの連携の下、指導員資格の取得を段階的に促す中期計画の最終年度となり、当年度の競技会からは、全競技カテゴリーの予選と全国大会にて、ベンチ入りチーム役員全員有資格者、且つ1名以上のA級指導員を必須とした。

都道府県協会／ブロック連絡会の協力を得て、概ね順調に取得が進み、3月末時点のA級指導員の人数は1052名に達した。

また、当協会主催の、初のスポーツドクター取得者が誕生した。今後は、各種主催事業への同行等を通じて、ドッジボールにおけるメディカルサポート等の情報の発展を目指す。

- 公認指導員養成講習会

A級指導員の他、専門科目のみで構成するB級指導員、及びC級指導員の養成も進めた。これまでは、チームで1名のA級指導員配置を共通の目標としていたが、達成したことから、監督はA級取得必須とし、未取得の監督には進級を促す。

- 更新講習会

指導者への継続的な学習の機会として、B級・C級指導員に対して4年に1回以上の更新講習会の受講を必須としている。（A級指導員はJ S P Oの制度に準ずる。）

2024年度は、地元での受講の機会が合わない指導員への対応を図るため、前年度の講演を元に映像を編集し、オンデマンド配信形式で行った。

想定を超える104名の受講があったことは良い点であったが、レポートの中には断片的な視聴のみと思われる内容や、AI機能を用いたと推測される内容も散見された点は、残念な点であった。

指導者としての学びの機会に繋がるよう、2025年度は設問形式を変えるなど、実施内容を工夫することを確認した。

#### 5. 国際委員会

- 代表選手選考会・選手団遠征

2024年度は海外2大会へ参加したが、その過程においてモチベーションの切り替えに苦心する年となった。

マルチボールにおいては、予定されていた世界大会が正式に延期となったことから、参加大会をアジア連盟（ADF）主催のEast Asian Dodgeball Championships 2024へ切り替え、準備を進めた。

一方、シングルボールにおいても、6年ぶりにアジアカップの開催が決まった。長くこの種目での編成を行っていなかったため、急遽代表チーム編成を進めたが、台風の直撃により、予定していた選考会は中止を余儀なくされた。

概要		
大会名称	5th ADC Asian Cup	East Asian Dodgeball Championships 2024
合宿日程	2024年10月19日～20日	9月28日～28日
合宿会場	会場：鳴沢村民体育館 宿泊：森の家久野屋	会場：東海学院大学短期大学部体育館 あぐりパーク 宿舎：長良川スポーツプラザ
参加者	男子選手15名、女子選手13名、審判員2名 役員・コーチングスタッフ9名	男子選手16名、女子選手10名、 役員・コーチングスタッフ8名
大会日程	11月21日～25日※成田／関西空港発着日	2024年11月1日～5日※成田発着日
大会会場	桃園アリーナ(台湾)	Indoor Hall INSPEN (マレーシア)
選手団	選手28名、審判員2名 役員・スタッフ 9名	選手24名 役員・スタッフ9名

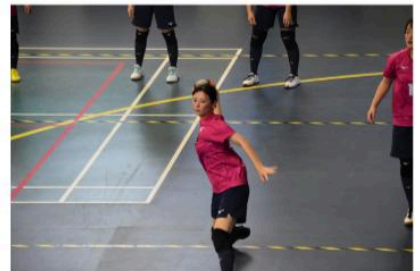


参加国・地域	日本・台湾・香港	日本、マレーシア、香港、オーストラリア、シンガポール、インド、サウジアラビア
成績	13歳以上男子 優勝 13歳以上女子 準優勝	Womenカテゴリー準優勝 Menカテゴリー第三位 Mixカテゴリー第三位




シングルボールにおいては久々の国際大会となったが、男子カテゴリーは5連覇を達成、女子カテゴリーは台湾代表に一步及ばず準優勝となった。台湾チームの強化が目立つなど、シングルボールの完成度が高くなっていることも示す結果となったが、残念ながら参加国は減少し、種目の規模の側面では不安も残った。

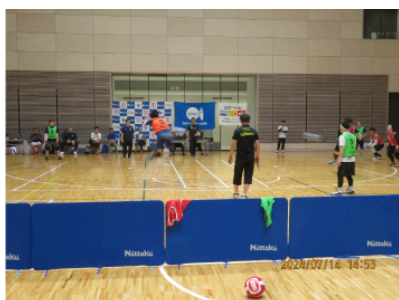
マルチボールにおいては、2017年以降、7年ぶりのマレーシアへの遠征となった。7名のみでの初挑戦となった当時とは異なり、強豪国の一角と目された中での参戦となった。厳しいスケジュールの中、全カテゴリー入賞の安定した成績を残した。

ただ、アジア以外においては、現在加盟していないWDBFの活動規模が拡大しており、両種目とも不透明な状況は続いている。



- マルチボール体験会・審判員講習会・報告会 （スポーツ振興くじ助成事業）

<div style="text-align: right;"> <b>スポーツくじ</b>    </div>		
開催日	会場	参加人数
2024年5月18・19日	パナソニックアリーナ	45名
2024年6月8・9日	岐阜メモリアルセンター ふれ愛ドーム	59名
2024年7月14・15日	高崎アリーナ サブアリーナ	64名
2025年2月1・2日	岡垣サンリーアイ	35名



海外の大会を通じて得た経験の国内への還元は、公益性という観点から、NFの役割でもあるため、国内4か所でのマルチボール体験会を実施した。地域の子ども会育成会連合会や児童館、体育館での用具購入にも繋がっている。

## 6. 倫理委員会

通報相談フォームを通じた内容への対応と、加盟協会への規程整備の促進を図っている。

2024年度の通報相談件数は、2023年度とほぼ同数の16件であった。多くは発生した都道府県協会内で対応可能な事例であったが、警察署が動くなど、対応が難しい事例も依然として発生した。JSP0からの照会を求められた事例もあり、慎重な対応を進めた。

2025年度からは、委員会内にコンプライアンス部門も整備し、加盟協会への標準倫理規程／標準倫理委員会規程の設置の徹底を図る。

## 7. アスリート委員会

2023年度に委員会規程を定めた後、難航していた外部委員・女性委員の選定を完了した。2025年度からは競技者の視点からの他の委員会との連携や、外部委員の経験を生かしたアンチ・ドーピング啓発活動やメディカルサポート分野への取り組み、及び教室プログラムの整備を主に進めることを確認した。

## 8. 会議の開催状況

臨時評議員会は、久々に対面にて開催した。理事会は対面を基本にしつつ、前後の日程で議論の補間のため必要に応じてオンライン形式も取り入れた。

### ①評議員会

会議名	開催日	主な審議事項
定時評議員会	2024/6/16	2023年度事業報告・収支決算の承認
臨時評議員会	2025/3/6	2025年度事業計画・収支予算の承認

## ②理事会

	日程	主な議題
第1回	2024/4/27	春全国大会総括、スポンサー承認 倫理規程類改定、シニアチャンピオンシップ資料確認
第2回	2024/6/16	2023年度事業報告・収支決算承認、夏小・全日本総合選手権進捗確認
第3回	2024/8/25	国際大会（シングル／マルチ）派遣メンバー承認、全日本選手権開催 地変更確認、外部専門委員承認、次年度以降の全国大会確認
第4回	2024/10/13	全日本選手権総括、女子総合選手権準備、広報予算追加承認、国際団 体の動向共有と今後の方向検討
第5回	2024/12/21	ガバナンスコード対応、2025年度計画策定準備、助成金事業（スポー ツ振興くじ・振興基金）申請事業確認
第6回	2025/2/23	2025年度事業計画・収支予算承認、広報紙（特集号）内容共有、 AT推薦者承認、通報案件対応確認、春小全国大会進捗確認

## 9. 他（委員会単位ではない事業／他団体への派遣事業等）

## ❖ 中央スポーツ団体ガバナンスコード自己説明

中央スポーツ団体ガバナンスコードへの適合状況に関して自己説明書類を作成・公表した。  
スポーツ・インテグリティの確立に向け、引き続き整備強化を進める。

## ❖ 広報紙作成・発行（総務・広報）

加盟協会内外に向けた広報紙を製作し、会員・スポンサー等へ発送した。2023年度に続き、本紙に  
加え、海外遠征の模様と成果を報告する号外も発行した。

## ❖ コナミスポーツとの連携

数年間、大分市の体育館のみで進めていたドッジボール教室が、19体育館まで拡大し  
た。

2025年度には、実施施設数の拡大と、運営管理するコナミスポーツと連携協定を結ぶこ  
とが確定している。地域の活性化による公益性と、協会活動の拡大の両立を目指し準備を  
進める。

第 1 6 期  
計 算 書 類

2024年4月 1日から  
2025年3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会



# 貸借対照表

2025年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	67,974,554	57,566,219	10,408,335
商品	1,183,389	2,620,119	△ 1,436,730
前渡金	32,298	161,493	△ 129,195
立替金	510	3,000	△ 2,490
未収入金	18,369,204	11,314,835	7,054,369
流動資産合計	87,559,955	71,665,666	15,894,289
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
工具器具備品	1	1	0
保証金	414,000	414,000	0
その他固定資産合計	414,001	414,001	0
固定資産合計	414,001	414,001	0
資産合計	87,973,956	72,079,667	15,894,289
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,380,209	7,258,105	122,104
前受金	2,609,000	1,728,000	881,000
預り金	116,475	109,894	6,581
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税	1,068,600	210,800	857,800
流動負債合計	11,244,284	9,376,799	1,867,485
負債合計	11,244,284	9,376,799	1,867,485
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	76,729,672	62,702,868	14,026,804
正味財産合計	76,729,672	62,702,868	14,026,804
負債及び正味財産合計	87,973,956	72,079,667	15,894,289

損益計算書（正味財産増減計算書）

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
事業収益	23,626,086	24,905,465	△ 1,279,379
登録料収益			
チーム登録料収益	3,750,000	3,786,000	△ 36,000
受取会費			
協会員受取会費	54,564,000	43,497,000	11,067,000
役員等受取会費	580,000	660,000	△ 80,000
加盟協会料収益			
加盟協会料収益	2,350,000	2,350,000	0
スポンサー料収益			
スポンサー料収益	6,206,500	5,660,000	546,500
販売収益			
販売収益	13,244,534	12,348,242	896,292
検定料収益			
公認球検定料収益	4,207,896	3,294,852	913,044
手数料収益			
手数料収益	2,204,344	1,923,200	281,144
受取補助金等			
受取助成金	10,023,000	6,103,400	3,919,600
雑収益			
雑収益	208,118	399,779	△ 191,661
経常収益計	120,964,478	104,927,938	16,036,540
(2) 経常費用			
事業費			
謝金	1,729,908	844,500	885,408
旅費交通費	17,196,269	20,175,752	△ 2,979,483
宿泊費	8,924,233	8,795,242	128,991
事業支援費	22,271,400	21,180,800	1,090,600
賃借リース料	2,826,290	3,240,612	△ 414,322
制作費	4,630,872	4,445,989	184,883
用具費	5,774,837	5,509,695	265,142
通信運搬費	2,584,805	2,828,724	△ 243,919
印刷製本費	4,865,136	4,990,028	△ 124,892
事業消耗品費	5,049,671	5,052,370	△ 2,699
事業雑費	3,434,268	1,740,361	1,693,907
管理費			
給与手当	11,530,234	9,726,929	1,803,305
通勤費	670,770	471,002	199,768
法定福利費	2,025,439	1,747,233	278,206
福利厚生費	32,280	33,870	△ 1,590
賃借料	3,820,697	3,807,440	13,257
リース料	266,741	250,800	15,941
旅費交通費	1,831,711	1,761,190	70,521
通信費	1,008,118	913,823	94,295
運賃	2,193,091	1,575,164	617,927
消耗品費	463,846	464,824	△ 978
顧問料	720,000	2,370,000	△ 1,650,000
業務委託費	385,000	399,850	△ 14,850
会議費	0	73,860	△ 73,860
接待交際費	123,800	25,580	98,220
水道光熱費	191,002	252,775	△ 61,773
諸会費	467,375	467,375	0
租税公課	1,426,400	740,050	686,350
支払助成金	100,000	60,000	40,000
減価償却費	0	82,500	△ 82,500
雑費	323,481	436,184	△ 112,703
経常費用計	106,867,674	104,464,522	2,403,152
当期経常増減額	14,096,804	463,416	13,633,388
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	14,096,804	463,416	13,633,388
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	14,026,804	393,416	13,633,388
一般正味財産期首残高	62,702,868	62,309,452	393,416
一般正味財産期末残高	76,729,672	62,702,868	14,026,804
II 正味財産期末残高	76,729,672	62,702,868	14,026,804

## 財務諸表に対する注記(附属明細書)

### 1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
商品……最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産……建物・建物附属設備・構築物は定額法、それ以外は定率法  
無形固定資産……定額法
- (3) リース取引の処理方法  
所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。
- (4) 消費税等の会計処理  
税込方式で計上している。

### 2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法により減価償却を行っている場合)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
工具器具備品	10,011,600	10,011,599	1
合 計	10,011,600	10,011,599	1

### 3. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	BS上の 記載区分
補助金・助成金						
スポーツ普及奨励助成金	スポーツ安全協会	0	400,000	400,000	0	—
2024年度ジュニア育成助成金	ミズノスポーツ振興財団		500,000	500,000	0	—
岐阜観光コンベンション助成金	岐阜観光コンベンション協会	0	50,000	50,000	0	—
加盟団体助成金	日本レクリエーション協会	0	100,000	100,000	0	—
全国大会助成金	水戸市	0	1,000,000	1,000,000	0	—
スポーツ振興基金助成金	日本スポーツ振興センター	0	5,207,000	5,207,000	0	—
スポーツ振興基くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	2,766,000	2,766,000	0	—
合 計		0	10,023,000	10,023,000	0	

# 財産目録

2025年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目		金 額		
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
現金手許有高		117,083		
普通預金	みずほ銀行神谷町支店	1,274,832		
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(賛助会員)	61,107		
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(振興くじ)	93,178		
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(JKA)	24,966		
普通預金	みずほ銀行神谷町支店(ｽﾎﾟｰﾂ振興)	2,158,094		
郵便振替	東京貯金事務センター(審判)	63,316,995		
郵便振替	東京貯金事務センター(積立金)	11,619		
郵便振替	東京貯金事務センター(ｽﾎﾟｰﾂ振興)	68,390		
郵便振替	東京貯金事務センター(祝賀会)	68,063		
郵便振替	東京貯金事務センター	780,227		
商品	賞状、マルチボール、テキスト他	1,183,389		
前渡金	事務局更新料	32,298		
立替金		510		
未収入金	ｽﾎﾟｰﾂ振興助成金他	18,369,204		
流動資産合計			87,559,955	
2. 固定資産				
(1) その他固定資産				
工具器具備品	大会用コート	1		
保証金	事務局	414,000		
その他固定資産合計		414,001		
固定資産合計			414,001	
資産合計				87,973,956
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	事務局経費、春大会分他	7,380,209		
前受金	2025年度会費	2,609,000		
預り金	源泉税他	116,475		
未払法人税等		70,000		
未払消費税		1,068,600		
流動負債合計			11,244,284	
負債合計				11,244,284
正味財産				76,729,672



# 貸借対照表総括表

2025年 3月31日現在

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(全国大会)	特別会計(toto審判員中央研修会)	特別会計(totoマルチボール体験会・教室)	特別会計(国際大会遠征・報告)	合 計
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金	67,974,554	0	0	0	0	67,974,554
商品	1,183,389	0	0	0	0	1,183,389
前渡金	32,298	0	0	0	0	32,298
立替金	510	0	0	0	0	510
未収入金	18,369,052	0	152	0	0	18,369,204
流動資産合計	87,559,803	0	152	0	0	87,559,955
2. 固定資産						
(1) その他固定資産						
工具器具備品	0	1	0	0	0	1
保証金	414,000	0	0	0	0	414,000
その他固定資産合計	414,000	1	0	0	0	414,001
固定資産合計	414,000	1	0	0	0	414,001
資産合計	87,973,803	1	152	0	0	87,973,956
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金	1,468,970	5,911,239	0	0	0	7,380,209
前受金	2,609,000	0	0	0	0	2,609,000
預り金	110,070	6,405	0	0	0	116,475
未払法人税等	70,000	0	0	0	0	70,000
未払消費税	1,068,600	0	0	0	0	1,068,600
元入金	△ 41,512,995	25,712,457	360,570	12,781,950	2,658,018	0
流動負債合計	△ 36,186,355	31,630,101	360,570	12,781,950	2,658,018	11,244,284
負債合計	△ 36,186,355	31,630,101	360,570	12,781,950	2,658,018	11,244,284
III 正味財産の部						
1. 一般正味財産	124,160,158	△ 31,630,100	△ 360,418	△ 12,781,950	△ 2,658,018	76,729,672
正味財産合計	124,160,158	△ 31,630,100	△ 360,418	△ 12,781,950	△ 2,658,018	76,729,672
負債及び正味財産合計	87,973,803	1	152	0	0	87,973,956

損益計算書（正味財産増減計算書）総括表

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般財団法人 日本ドッジボール協会

(単位:円)

科 目	一般会計	特別会計(全国大会)	特別会計(toto審判員中央研修会)	特別会計(totoマルチボール体験会・教室)	特別会計(国際大会遠征・報告)	合 計
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
事業収益						
事業収益	2,578,396	9,397,780	458,000	491,500	10,700,410	23,626,086
登録料収益						
チーム登録料収益	3,750,000	0	0	0	0	3,750,000
受取会費						
協会員受取会費	54,564,000	0	0	0	0	54,564,000
役員等受取会費	580,000	0	0	0	0	580,000
加盟協会料収益						
加盟協会料収益	2,350,000	0	0	0	0	2,350,000
スポンサー料収益						
スポンサー料収益	4,955,000	1,151,500	0	0	100,000	6,206,500
販売収益						
販売収益	6,973,334	5,770,100	0	0	501,100	13,244,534
検定料収益						
公認球検定料収益	4,207,896	0	0	0	0	4,207,896
手数料収益						
手数料収益	700,656	1,503,688	0	0	0	2,204,344
受取補助金等						
受取助成金	100,000	7,107,000	1,281,000	1,535,000	0	10,023,000
雑収益						
雑収益	159,224	3,805	0	89	45,000	208,118
経常収益計	80,918,506	24,933,873	1,739,000	2,026,589	11,346,510	120,964,478
(2) 経常費用						
事業費						
謝金	702,000	223,408	379,000	407,500	18,000	1,729,908
旅費交通費	1,669,913	5,257,507	1,198,154	732,810	8,337,885	17,196,269
宿泊費	247,054	5,084,035	272,874	331,630	2,988,640	8,924,233
事業支援費	22,271,400	0	0	0	0	22,271,400
賃借リース料	8,140	2,295,393	126,070	337,127	59,560	2,826,290
制作費	2,150,850	2,480,022	0	0	0	4,630,872
用具費	1,854,413	2,544,832	31,185	45,892	1,298,515	5,774,837
通信運搬費	1,321,540	1,097,902	12,375	17,545	135,443	2,584,805
印刷製本費	3,485,826	1,327,970	0	51,340	0	4,865,136
事業消耗品費	1,180,137	3,450,892	55,780	49,656	313,206	5,049,671
事業雑費	366,472	2,137,060	23,980	53,477	853,279	3,434,268
管理費						
給与手当	11,530,234	0	0	0	0	11,530,234
通勤費	670,770	0	0	0	0	670,770
法定福利費	2,025,439	0	0	0	0	2,025,439
福利厚生費	32,280	0	0	0	0	32,280
賃借料	3,820,697	0	0	0	0	3,820,697
リース料	266,741	0	0	0	0	266,741
旅費交通費	1,831,711	0	0	0	0	1,831,711
通信費	1,008,118	0	0	0	0	1,008,118
運賃	2,193,091	0	0	0	0	2,193,091
消耗品費	463,846	0	0	0	0	463,846
顧問料	720,000	0	0	0	0	720,000
業務委託費	385,000	0	0	0	0	385,000
接待交際費	123,800	0	0	0	0	123,800
水道光熱費	191,002	0	0	0	0	191,002
諸会費	467,375	0	0	0	0	467,375
租税公課	1,426,400	0	0	0	0	1,426,400
支払助成金	100,000	0	0	0	0	100,000
雑費	323,481	0	0	0	0	323,481
経常費用計	62,837,730	25,899,021	2,099,418	2,026,977	14,004,528	106,867,674
当期経常増減額	18,080,776	△ 965,148	△ 360,418	△ 388	△ 2,658,018	14,096,804
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	18,080,776	△ 965,148	△ 360,418	△ 388	△ 2,658,018	14,096,804
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	0	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	18,010,776	△ 965,148	△ 360,418	△ 388	△ 2,658,018	14,026,804
一般正味財産期首残高	106,149,382	△ 30,664,952	0	△ 12,781,562	0	62,702,868
一般正味財産期末残高	124,160,158	△ 31,630,100	△ 360,418	△ 12,781,950	△ 2,658,018	76,729,672
II 正味財産期末残高	124,160,158	△ 31,630,100	△ 360,418	△ 12,781,950	△ 2,658,018	76,729,672

# 監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会  
評議員・理事 各位

2025年 6月 7日  
一般財団法人日本ドッジボール協会

監事 畑 敏 

私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2024年度（自2024年4月1日至2025年3月31日）の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

## 記

### 1 監査方法の概要

- ① 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- ② 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

### 2 監査意見


- ① 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2025年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- ② 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものと認める。
- ③ 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協会定款に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上

# 監査報告書

一般財団法人日本ドッジボール協会  
評議員・理事 各位

2025年 6月 7日  
一般財団法人日本ドッジボール協会

監事 小田 上 

私は、一般財団法人日本ドッジボール協会の、2024年度（自2024年4月1日至2025年3月31日）の会計並びに業務について監査を行い、次の通り報告します。

## 記

### 1 監査方法の概要

- ① 会計監査については、帳簿及び関係書類を調査し、担当役員及び事務職員に質問を行い、貸借対照表、損益計算書及び財産目録の計算書類の正確性を検討した。
- ② 業務調査については、必要書類を調査し、かつ担当役員及び事務職員に質問を行うなど必要と思われる監査手続きを実施して、会計遂行の妥当性を検討した。

### 2 監査意見

- ① 上記会計の計算書類は、会計帳簿の金額と一致し、一般財団法人日本ドッジボール協会の2025年3月31日現在の財産状態及び同日を以って終了する事業年度の損益を正しく示しているものと認める。
- ② 事業及び会計報告書の内容は、妥当なものと認める。
- ③ 理事の会計執行は公正に運営されており、法令及び一般財団法人日本ドッジボール協会定款に照らし、特に指摘すべき事項はない。

以上